

株式会社Scalar

AI Based DevOps Platform & Secure AI Data Platform

2025年7月

株式会社Scalar



役員構成



深津 航 (Wataru Fukatsu)

Founder/代表取締役 CEO

1998年日本オラクル株式会社に入社し、サポート、セールスコンサルタントを経て、BI/EPM事業/Big Data 事業の立上げに従事



金子 雅人 (Masato Kaneko)

Founder/取締役 CFO

新日本有限責任監査法人、Boston Consulting Group、Orbを経て現職



山田 浩之 (Hiroyuki Yamada)

Founder/代表取締役 CTO

IBM、ヤフー、東京大学生産技術研究所等において一貫して分散データベースの研究開発に従事(博士(東京大学))、経産省の未踏事業においてはスーパークリエータに認定



Joe McCunney

CEO and President of US Scalar Labs

Peoplesoft, Oracle, Endeca, Workday, Veeva を経て、米国 Scalarに入社。Scalar の米国事業の立ち上げを担当

金子 忠浩

社外取締役

NTTドコモ、モトローラ、日本オラクル(代表執行役)等で法務責任者を歴任

森 満里子

常勤監査役

森六ホールディングス元取締役執行役員として上場を果たしたのち、複数の企業で常勤監査役として勤務

蓮原 亮

社外監査役

EY新日本有限責任監査法人入所後、ひまわり税理士法人代表社員(現任)
公認会計士

吉川 景司

社外監査役

瓜生糸賀法律事務所パートナーを経て、吉川法律事務代表(現任)
弁護士・弁理士

株式会社Scalar

東京、札幌、サンフランシスコを拠点に
日本からグローバルへの展開を目指す
B2Bソフトウェアのスタートアップ

VISION

データマネジメントの未来を創る

今後はデータ中心の社会になっていき、データが様々なシステムを有機的に結合し、データに基づいて様々な処理が自動化されていきます。そのようなデータ社会を安心できるものにするのが私たちのビジョンです。



IT産業は誰が変えていくのか？

米国の場合：

ソフトウェア業界を牽引する会社は、ほぼすべてが「**起業家**」と呼ばれる野心的なベンチャー企業によって発展してきている。

利益率の高い「**知識集約型ビジネス**」を選び、「**ソフトウェアライセンス**」というビジネスが最も収益を上げられる。

日本の場合：

ソフトウェアビジネスは、**官公庁や大企業中心**で立ち上がってきている。

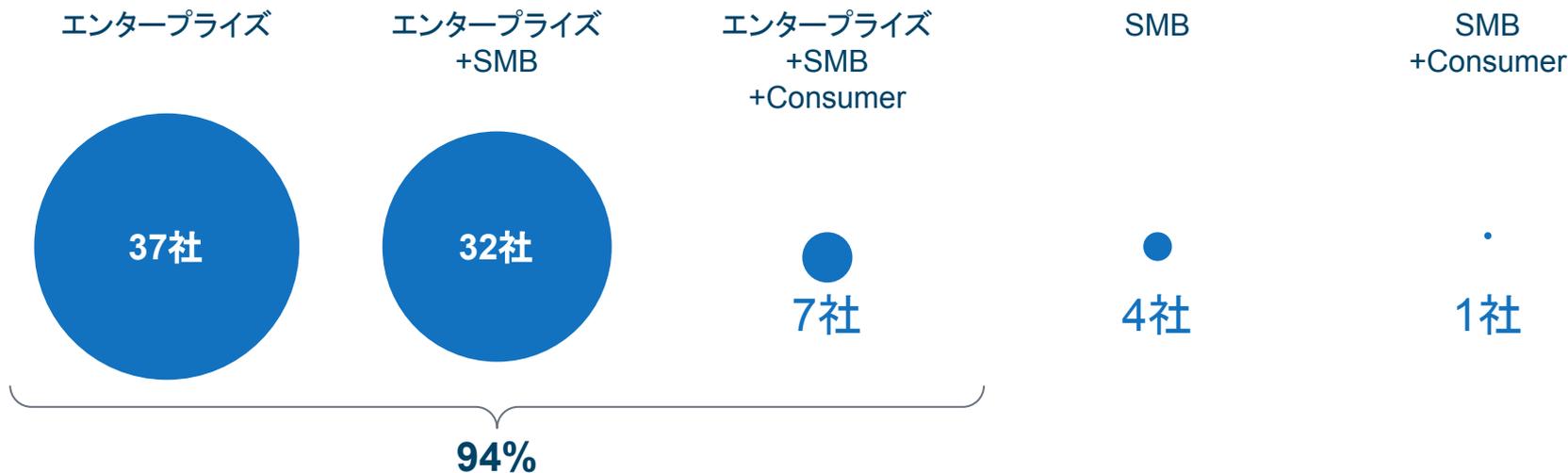
ITゼネコン型のビジネスモデルを生み出し、ITの世界における「**労働集約型ビジネス**」となっている。このため、世界で戦っても勝つことができない。

日本の投資環境・スタートアップの実情

- **日本市場において、ベンチャーキャピタルは早い収益化を望む**
 - 米国では、セカンダリと呼ばれる次のステージに進むためのファンドがある
- **スタートアップがターゲットしている市場が小さい**
 - スタートアップとしてのニッチ戦略は正しいが、日本市場という小さなマーケットだけを追っているため、結果大きなリターンが得られない。このため、大きな投資を集められない。
- **わかりやすいビジネスはまねされやすい**
 - わかりやすいビジネスは敵も多く、レッドオーシャンになるため、多くのスタートアップが死んでいく（投資サイドは、誰か1社が勝てば良い）。
- **世界を目指していない**
 - 「知識集約型ビジネス」は、国境を越えてやってくる。大きな市場で、早く規模を大きくした会社が、最終的に勝つビジネスである。

なぜエンタープライズなのか？（米国上場SaaS企業の比較）

ターゲット顧客



時価総額／収益

6.8x

10.0x

6.8x

12x

7.4x

なぜエンタープライズなのか？

Segment	Monthly Customer Churn %	Annual Customer Churn %
SMB	3-7%	31%-58%
Mid-Market	1-2%	11%-22%
Enterprise	0.5-1%	6%-10%

Scalar Product Overview



Universal HTAPエンジン

異種複数のデータベースを仮想的に統合し、
OLTP/OLAP両方の処理を実現するソフトウェア

適用領域

異種複数のDBMSの抽象化と仮想統合
マイクロサービス・アーキテクチャ
RAGシステム、AIベースの開発
ベンダーロックイン回避



改ざん検知ミドルウェア

改ざんを含む任意の故障（ビザンチン故障）を
検知することができるソフトウェア

適用領域

電子的な証拠保全
トレーサビリティ
同意と利用履歴の記録
オフチェーンの構築

Scalar製品の適用領域の例

Legacy Modernization, Cloud Native System



メインフレームの
モダナイゼーション



マルチクラウド
ハイブリッドクラウド



マイクロサービス
マルチテナントSaaS



DevOps, DataOps

AI Based System, Secure RAG



セキュアなRAGシステム



AIベースの開発



自然言語による
複数データベース問合せ



データ主権の担保

Evidence & Traceability, Consent Management



電力・バッテリー
トラッキング



DID/VCなどの
オフチェーンシステム



電子文書の証拠保全



同意記録・利用履歴記録

導入顧客

※一部抜粋

TOYOTA



Google

U POWER

MS&AD
三井住友海上

阪急阪神ホールディングス

W. マイナビ

ZENRIN

AI Based DevOps for Microservices

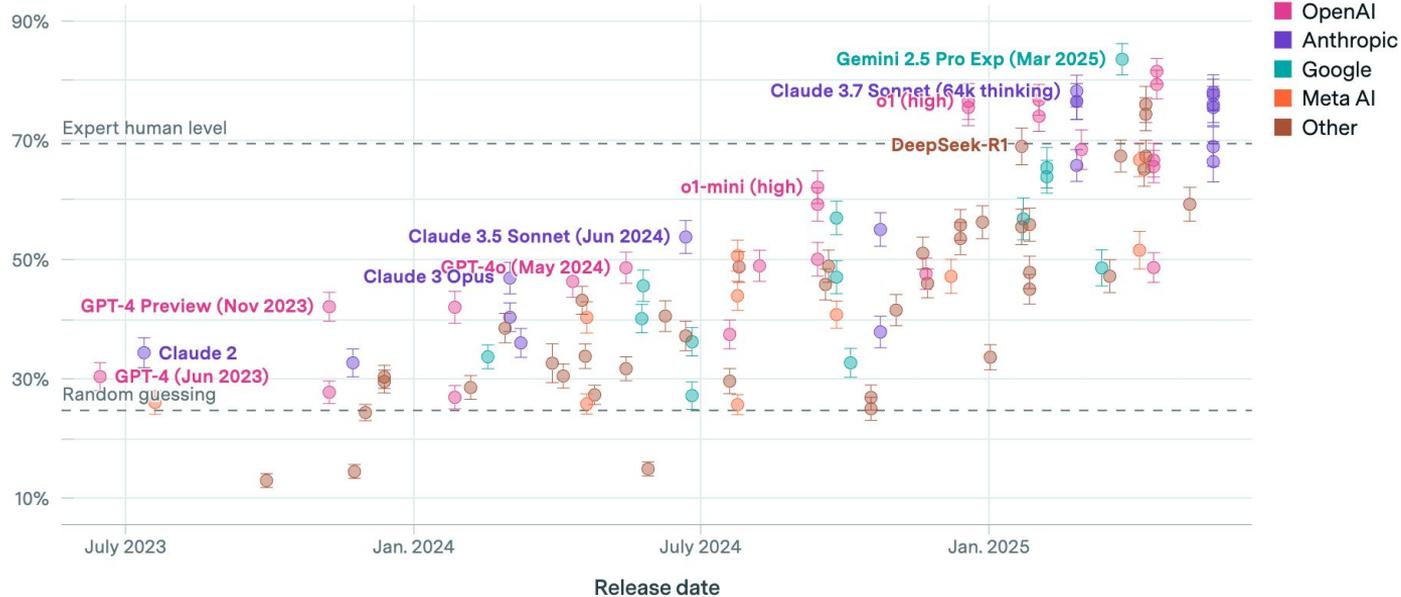
AIを使った開発のためのシステムアーキテクチャ

推論精度の進化

AI performance on a set of Ph.D.-level science questions

EPOCH AI

GPQA Diamond accuracy



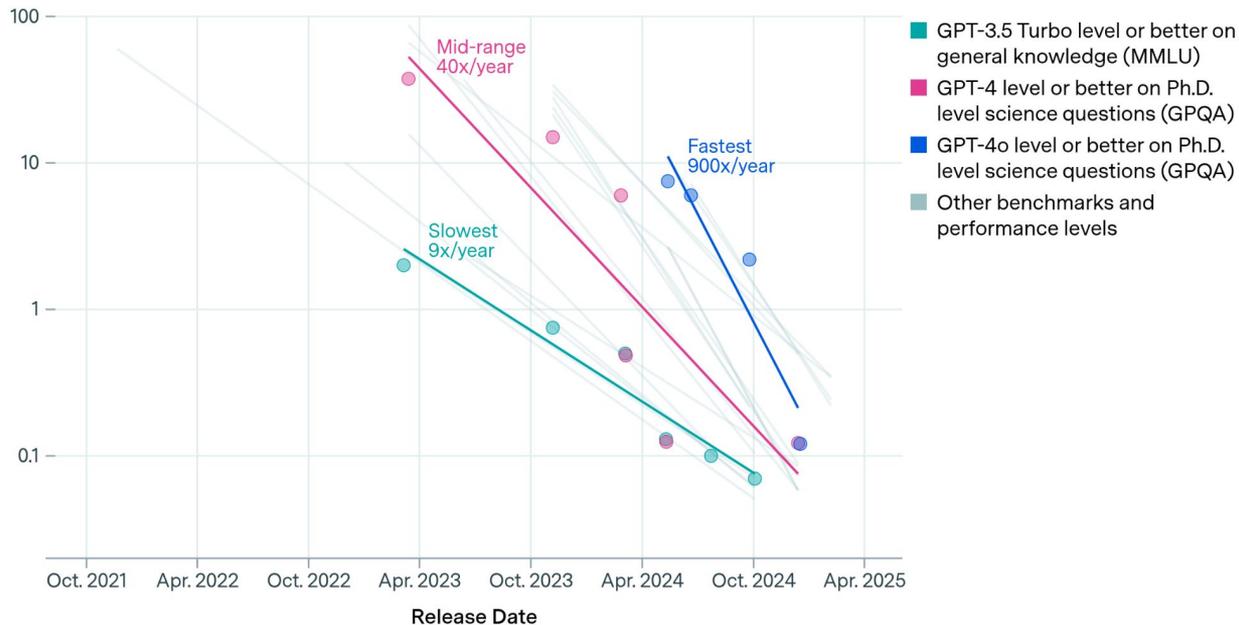
CC-BY

epoch.ai

LLM推論エンジンのコストの急激な低下

LLM inference prices have fallen 9x to 900x/year, depending on the task 

Price (USD per million tokens)

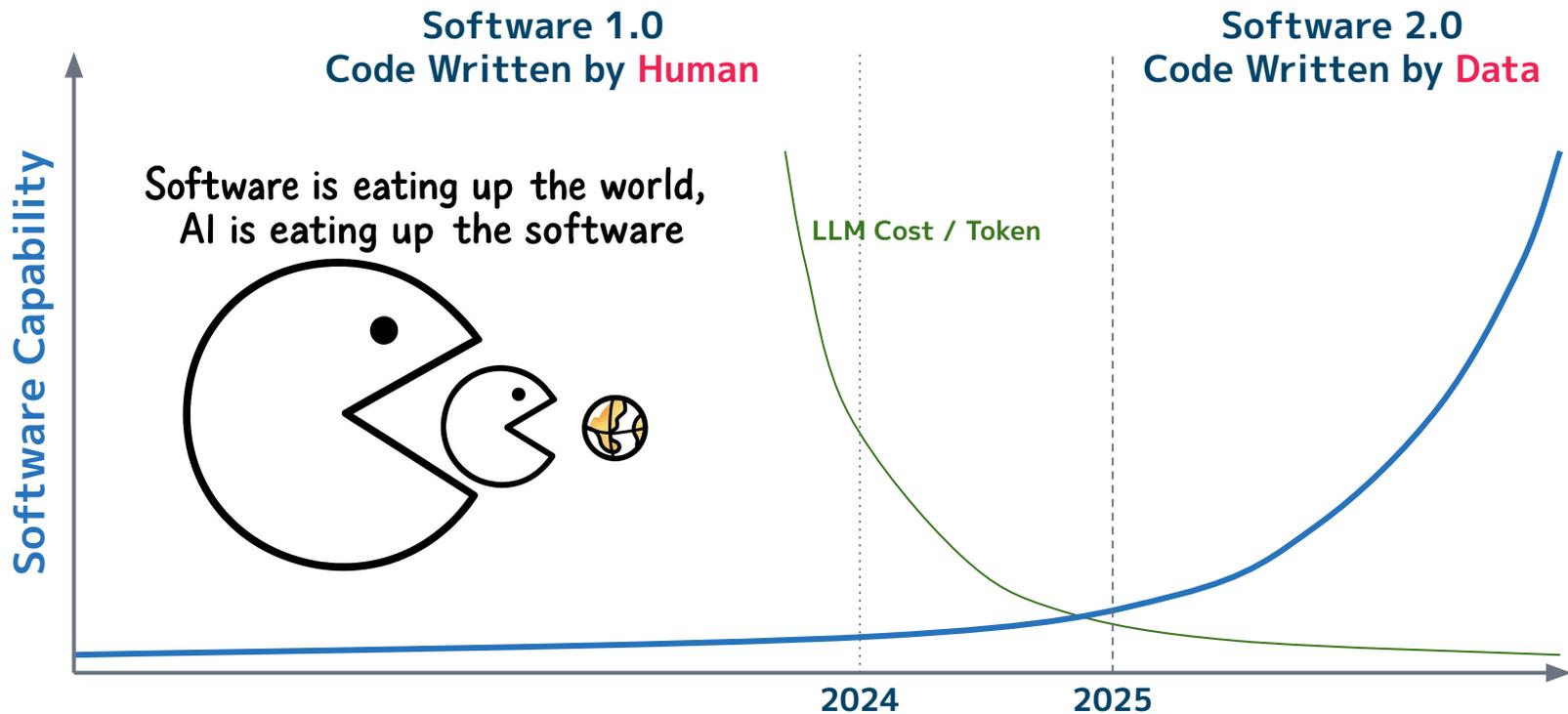


Data source: Epoch AI, Artificial Analysis

CC-BY

epoch.ai

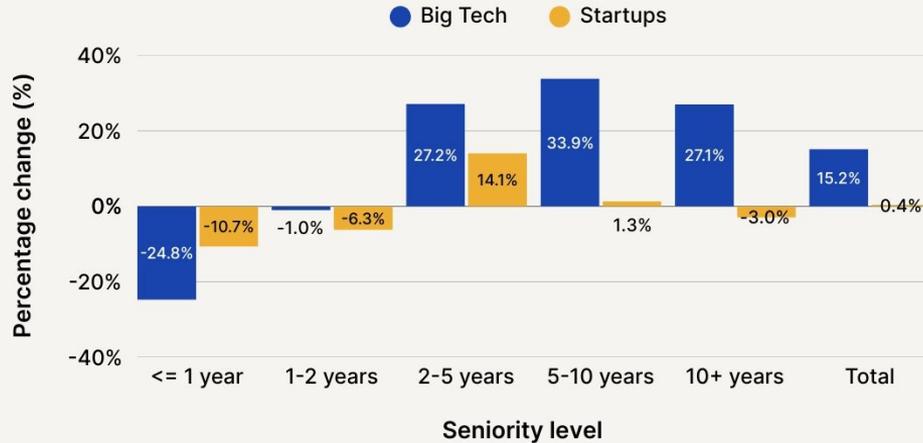
ソフトウェアが世界を飲み込み、AIがソフトウェアを飲み込む



AIの進化と、IT技術者の採用状況の変化

New grads left behind: Entry-level tech hiring fell 25% in 2024 despite market recovery

Percentage change in number of new hires by seniority (2023-2024)



*Big tech represents the top 15 technology companies by market cap.
*Startups represents companies funded by the Top 100+ VC firms that closed a Seed through Series C round in the previous 4 years.

SignalFire

米国において、AIコーディングの登場により、新卒を中心とした経験の浅いエンジニアの採用が急激に低下。

このようにジュニアなシステムエンジニアの採用がAIによって奪われる事態が発生している。

北米の新卒卒業学部の失業率のトップ10

home > economic research >

The Labor Market for Recent College Graduates

OVERVIEW COLLEGE LABOR MARKET FAQ DOWNLOAD

UNEMPLOYMENT Latest Release: February 20, 2025
UNDEREMPLOYMENT Labor Market Outcomes of College Graduates by Major
WAGES
OUTCOMES BY MAJOR

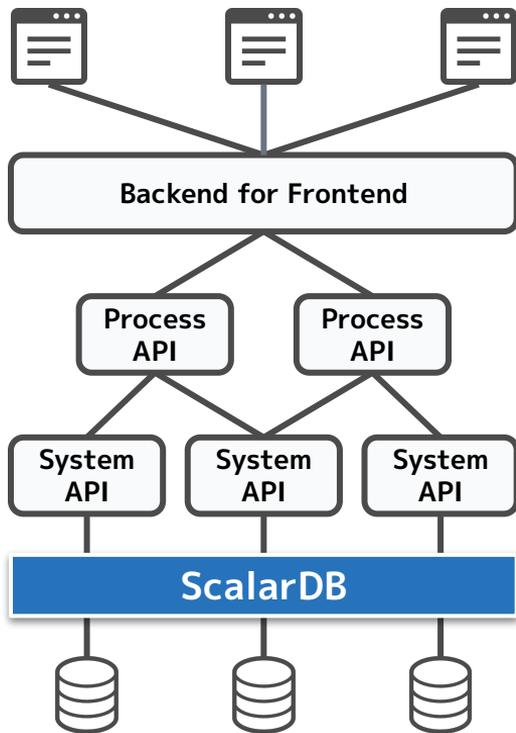
MAJOR	UNEMPLOYMENT RATE	UNDEREMPLOYMENT RATE	MEDIAN WAGE EARLY CAREER	MEDIAN WAGE MID-CAREER	SHARE WITH GRADUATE DEGREE
ANTHROPOLOGY	9.4%	55.9%	\$42,000	\$70,000	45.7%
PHYSICS	7.8%	35.0%	\$70,000	\$100,000	67.9%
COMPUTER ENGINEERING	7.5%	17.0%	\$80,000	\$122,000	40.0%
COMMERCIAL ART & GRAPHIC DESIGN	7.2%	34.7%	\$48,000	\$75,000	11.3%
FINE ARTS	7.0%	53.4%	\$42,500	\$70,000	22.6%
SOCIOLOGY	6.7%	54.4%	\$45,000	\$70,000	39.7%
COMPUTER SCIENCE	6.1%	16.5%	\$80,000	\$115,000	32.8%
CHEMISTRY	6.1%	40.6%	\$55,000	\$90,000	65.5%
INFORMATION SYSTEMS & MANAGEMENT	5.6%	28.5%	\$65,000	\$100,000	25.7%
PUBLIC POLICY AND LAW	5.5%	53.9%	\$50,000	\$75,000	45.0%

新卒者の所属学部のうち、「コンピュータ工学」「コンピュータ・サイエンス」「情報システムと管理」の3つの失業率がトップ10に入った。

一方で、AIエンジニアの需要は非常に高い状態が続いている

ScalarにおけるAIを使った開発プロジェクトの事例

Scalarが主導している顧客プロジェクトでの実績



デザインからUIのコードを直接生成
要件定義とプロトタイプ開発を同時に進行
画面開発：1～2週間/画面 → 30分～1時間/画面

APIの設計：1～2週間/API → 2日/API
APIの開発：1～2週間/API → 30分～3時間/API
※ 複雑な処理は人が対応している

サービス間の整合性、データ・セキュリティを
ScalarDBで行いシステムの安全性を担保

AIコード開発を前提にした人の役割

従来の開発

人間が主導

1. **ゴール設定**
何を作るかの決定
2. **作業の整理**
必要な作業を洗い出して整理
3. **実装**
コーディング、テスト作成、ドキュメント作成
4. **コードレビュー**
実装の品質と設計の妥当性確認
5. **動作検証**
要件を満たしているかのテスト

人間がAIの不確実性を抑え込む必要がある。

AIを前提にした開発

人間が主導

1. **ゴール設定**
何を作るかの決定
2. **作業の整理**
必要な作業を洗い出して整理
3. **作業の指示**
AIに対する具体的な指示の作成

AIが主導

4. **実装・ドキュメント作成**
コーディング、テスト作成、仕様書作成など

人間が主導

5. **コードレビュー**
実装の品質と設計の妥当性確認
6. **動作検証**
要件を満たしているかのテスト

アーキテクトの役割

AI時代のアーキテクトは、
「AIを活用できる構造を設計する人」になる必要があります。

- 1. 機能分解力 (Granular Decomposition)**
 - AIに指示できるように業務や機能を小さく明確な単位に分割できる。
- 2. プロンプト設計力 (Prompt Engineering)**
 - AIに対して意図を正確に伝えるプロンプトを構成できる。
 - 単なる自然言語ではなく、制約・目的・コンテキストを含めた設計ができる。
- 3. インターフェイス設計力 (Contract-First Thinking)**
 - マイクロサービスやAIエージェント間の明確なインターフェイスを定義できる。
 - 人ではなく、AIが呼び出す前提の設計ができる。
- 4. AI適用判断力 (What AI Should Do / Not Do)**
 - AIに任せるべき処理/任せるべきではない処理を見極める力。
- 5. データモデリングと AI活用の接続知識**
 - AIの学習・活用に適したデータ構造・アクセス設計ができる。
 - データの冗長化と正規化のバランス、メタデータ設計 RAG やベクトル検索との接続、データベースの種類選択など
- 6. AI x DevOps x ガバナンスの統合視点**
 - 生成されたコードやAIの出力に対し、レビュー・バージョン管理・監査ログの仕組みを構築できる。
 - AIをシステムに「安全に組み込む」観点を持っていて、これを設計し、実装できる。

AIを“手段”として設計に取り込み、AIと人が共創できるアーキテクチャを描ける人



SCALAR

